



2018年4月24(火) —
 4月29日(日) 9:30 — 17:30
 (最終日は16時まで)

岡山県天神山文化プラザ 第3・4展示室

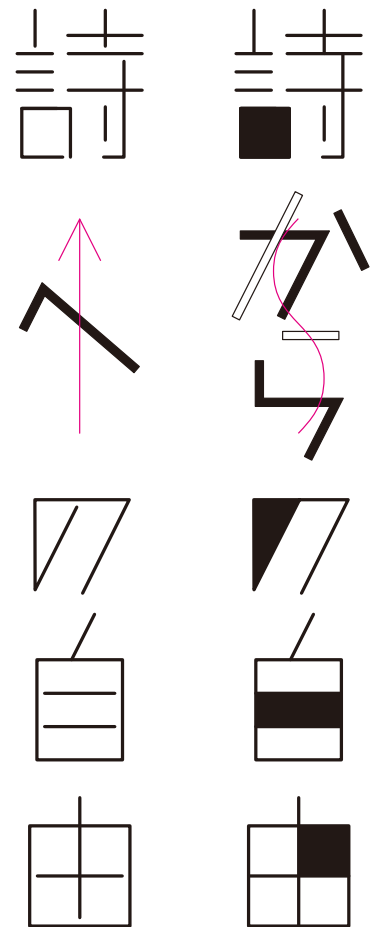
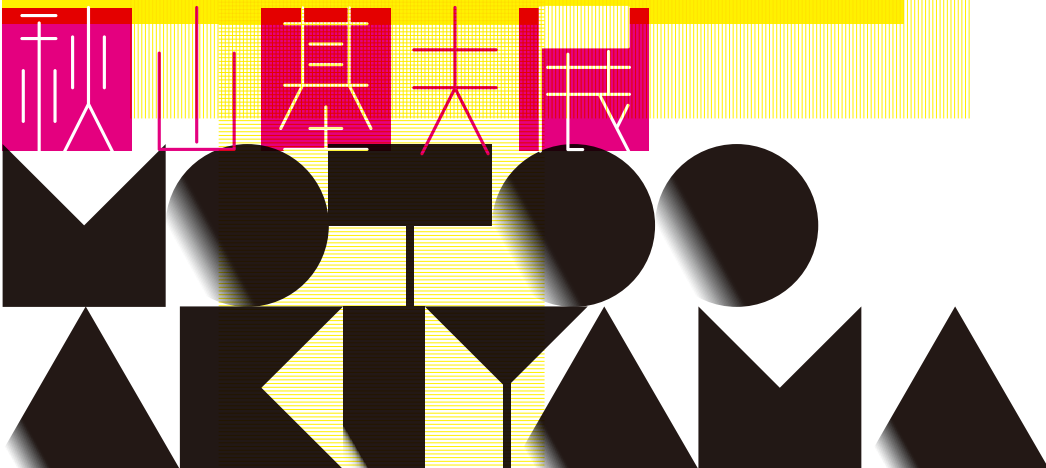


写真
吉田亮人



MOTOOKIYAMA

略歴

1932 神戸市生まれ

現在 岡山市在住

日本現代詩人会、岡山県詩人協会、現代詩研究会・四土の会、詩誌『どっかまら』、日本文芸家協会等会員

詩集／『旅のオーオー』(思潮社1965年)、『カタログ・現物』(かわら版)、『夢ふたたび』(手帖社)、『窓』(れんが書房新社)、『桜の枝に』(プロス)、『十三人』『家庭生活』(思潮社)、『キリンの立ち方』(山陽新聞社)、『岡山詩集』(和光出版)、『秋山基夫詩集』(思潮社・現代詩文庫)、『薔薇』(思潮社)、『二十八星宿』(和光出版)、『ひな』(ペーパーバック)、『神様と夕焼け』(和光出版)、『月光浮遊抄』(思潮社)など26冊
評論集等／『詩行論』『引用詩論』『文学史の人々』(思潮社)、『岡山の詩100年』(和光出版)など

レコード・CD／『ほんやら洞の詩人たち』(レコード／1975年URL-1041、CD／2003年復刻avex io)、『ストロング』『オカルト』(CD／大朗読事務局)など
主な受賞／第1回中四国詩人賞、第16回富田碎花賞、第64回山陽新聞賞(文化功労)、第3回岡山芸術文化賞グランプリなど

写真 吉田亮人

天ブラ・セレクトシヨンは、岡山県ゆかりの美術作家を個展形式で紹介する、天神山文化プラザの企画展シリーズです。
秋山基夫は、自作詩の朗読を重視する詩派「オーラル派」を関西で創生・牽引した詩人です。1960年代後半から片桐ユズル、有馬敲らとともに詩の朗読を始め、1970年代はカフエギャラリーの先駆けとも言われる京都の喫茶店「ほんやら洞」を拠点に全国各地で活動しました。岡山においても、戦後文化を牽引した山本遣太郎をはじめ、永瀬清子、寺田武弘、高原洋一、福岡健二、山崎繁男など文学・演劇・美術等ジャンルを超えた多彩なアーティスト達と交流。その縦横無尽な活動の軌跡は、詩集・脚本・評論集・詩誌等の出版物に留まらず、朗読会や展覧会など多岐にわたります。
本展は、原稿、写真、映像、音源、出版本等によるインスタレーション展示に加え、岡山のアーティスト達との新作コラボレーション、朗読ライブと多彩な要素で構成し、「詩はライブ」をモットーとする作家の「今」に触れていただきます。誰もが発信者になり得る現代において、私たちは氾濫する文字や過剰なメッセージに麻痺し、言葉の力を見失いがちです。言葉を駆使した芸術である詩、そして身体全体を使ったコミュニケーションである朗読は、言葉に対する実感を呼び覚ましてくれることでしょう。
「自分の目でじかに見ることで、自分の耳でじかに聞くことができ、自分の声がそのままだれかの耳にとどく、そういうナニゴトか」＊に出来る秋山基夫展をお楽しみください。
＊秋山基夫「詩の朗読についての2、3のコメント」より



指定管理者 公益社団法人 岡山県文化連盟
天神山文化プラザ
Tenjin-yama Cultural Plaza of Okayama Prefecture

岡山県天神山文化プラザ
(指定管理者 公益社団法人 岡山県文化連盟)
〒700-0814 岡山市北区天神町 8-54
Tel. 086-226-5005 Fax. 086-226-5008
URL <http://www.tenplaza.info/>

主催／岡山県天神山文化プラザ
助成／公益財団法人 福武教育文化振興財団
岡山県天神山文化プラザ文化振興会
JR岡山駅から【徒歩】15分【市内電車】東山行「城下」下車徒歩3分
【バス】藤原団地行「天神町」下車

<コラボレーションアーティスト>

秋山基夫(詩) × 高原洋一(版画)、故 曾我英丘(書)
安藤一生(デザイン)
岡村勇佑(版画)
島村敏明(絵画)
蟠 龍(書)
松島千紗(テキスタイル)

展 示

4月28日(土)
16:00より
作家による
作品解説

ライブ

秋山基夫(朗読) × 小幡 亨(音楽)
日時: 4月28日(土) 14:00 ~
場所: 第3・4展示室 観覧無料